

読者コーナー

読者の皆さんの投稿を歓迎します。内容は自由ですが、掲載・不掲載の決定や文章上の調整は本紙で行ないます。匿名でもかまいませんが、内容確認などのため、必ず本紙と連絡がとれるようお願いします。手紙かハガキかファクスで送って下さい。

東日本大震災を受けて、まで徒歩や車椅子で移動する訓練が行なわれました。会所有のエンジン付きポンプの稼働・放水に、防災りを」ということで企画し、やつたら(ポンプが)始動しました。会員約六十人がこのような立体的避難訓練に参加。大阪市危機管理室、港区役所防災担当、港・大正公園事務所、パチンコ1・2・3が協力しました。

海溝型地震を想定しまず午前七時から、「和歌山沖で海溝型地震が発生した」との想定で、役員・班長・防災リーダーを中心練が行なわれました。

次に七時四十分から、「津波が発生した」との想定で、パチンコ1・2・3の屋上

自転車走行のルールとマナーを考えよう

(田中2・藤原87歳)

吉村作治・早稲田大学名誉教授が「都会の歩道を疊つ

たので初めてでした。い

ました。去年引っ越してき

たので初めてでした。い

い訓練が出来てよかったです。特に高所避難が印象に残りました。近所に高い建

物があるのは安心です」と

話していました。

同町会では平成二十一、二十二年にも防災訓練を実

施。毎月の班長会議でも「災害時に地域で支え合う関係

作り」を話し合っています。

主催で五回目。九月十八日(日)正午~十七時、繁栄商店街(南市岡3)アーケード内特設「○○コース

店舗(南北市岡3)アーケード内特設「○○コース

店舗(南北市岡3)アーケード内特設「○○コース